

病院船・災害時多目的支援船の建造推進に関する要請書

ご高承の通り、昨年の東日本大震災では想定外という事態が多発した反省から、今後発生が予想されている大規模災害に万全を期するという重要な任務を負って『病院船建造推進、超党派議員連盟』が災害直後に発足しました。

政府においてもかかる重要性と緊急性の認識が一致したため、平成二三年度第三次補正予算では調査・検討経費として三千万円が計上され、内閣府に「災害時多目的船に関する検討会」を設置し、熱心な議論と調査を重ね、平成二三年度末に叡智を結集した報告書が完成しました。

同報告書では、災害対応にあたり海からのアプローチに期待される役割を整理分析し、医療機能の一層の充実が必要との認識の下、病院船（災害時多目的支援船）が、災害時の輸送機能、被災者等支援機能、指揮機能などの多目的支援機能と医療機能を有する自己完結型の総合拠点として、国民を守るために必要不可欠であることを結論付け、高く評価されました。

かかる経緯を踏まえ当議連は、同報告書を基に運用面での支援体制を確立しつつ、具体的な船舶建造設計を行い、一刻も早い病院船（災害時多目的支援船）の導入を実現して、広域的大規模自然災害から国民を守るため、本年五月十六日付で内閣官房長官及び内閣府特命担当大臣（防災担当）に対して、「病院船建造に係る設計費及び検討を継続するための会議費」を平成二四年度第一次補正予算案に計上することを要請し、その必要性を認識頂いた結果、平成二四年度予算費で一千万円が再度確保され「具体災害を想定した有効性や活用場面、保有・運営の在り方」等昨年の調査の深堀を行いました。

すでに南海トラフの巨大地震や首都直下地震など発生の可能性が科学的・学術的見地から指摘され、災害対策への体制整備の必要性が益々強まるなか、未だ予算の措置が為されていないため、既に理解を得ている作業工程が大幅に滞っており、緊急時への備えに危惧の念を抱いているのが現状です。

二度の精緻な調査を経てその必要性は高まりを見せています。かかる事態を一刻も早く打開し、左記の取組みを加速させるために、平成二五年度予算から基本設計費一億円を計上するとともに、速やかに建造費を措置することを要請します。

記

【一】 病院船・災害時多目的支援船建造のための基本要件

(一) 船舶

一、約一、〇〇〇人が搭載可能な長さ二〇〇メートル規模の高速航行が可能な低環